

平成29年第2回明和町議会定例会一般質問事項

平成29年6月8日（木）

1 7番 斎藤 一夫議員

1. プログラミング教育について
 - (1) プログラミング教育の授業内容は。
 - (2) 指導教員のプログラミング技術の習得対応は。
 - (3) 使用教材と授業時間は。
 - (4) 2020年必須化前の授業対応は。
2. 部活について
 - (1) 部活指導の現状は。
 - (2) 部活指導員の導入は。
3. 臨時職員について
 - (1) 臨時職員の待遇の現状は。
 - (2) 土日出勤の臨時職員賃金の増額は。
 - (3) 今後の臨時職員の採用計画は。
4. 防災行政無線について
 - (1) 宅内装置の設置状況は。
 - (2) 緊急放送対応の訓練状況は。
 - (3) 今後の定時放送の計画は。

2 9番 早川 元久議員

1. 防災士、消防団員について
 - (1) 本町での防災士の資格を持つ人は職員の中で何人か。
 - (2) 町での防災士の育成計画は。
 - (3) 防災士の資格修得への費用の助成は。
 - (4) 消防団員の準中型免許取得への助成計画は。
 - (5) 消防団員の充足率は。
 - (6) 消防団員の確保対策は。
2. 西部地区のもったいない館について
 - (1) 西部地区のもったいない館の設置時期は。
 - (2) 設置の予算額は。
 - (3) 設置場所の選定基準は。
3. 堤防上の整備について
 - (1) 利根川堤防上にトイレ付休憩所ができないか。
 - (2) 昭和橋西側堤防上への乗用車の侵入防止対策は。

3 6番 坂上 祐次議員

1. 通信インフラの整備について
 - (1) 公衆無線LANの整備について
 - ① 防災の観点から防災拠点での公衆無線LAN（Wi-Fi）の環境整備を行う必要があるのでは。
 - ② 災害発生時の情報伝達手段の状況は。
 - ③ 駅前プラザのような情報発信箇所に整備する考えは。
2. 無人航空機（ドローン）の活用について
 - (2) 無人航空機（ドローン）の活用について
 - ① 無人航空機（ドローン）の導入で容易に立ち入ることの出来ない場所の災害状況を把握出来るが、導入の計画は。
 - ② 普段は見られないふるさとの状況等を空から撮影し、観光や教育に活用する考えは。
3. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進について
 - (1) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進について
 - ① 後発医薬品の使用促進に向けた啓発事業の取り組みは。
 - ② 今後予定の取り組み事業は。

4 4番 岡安 敏雄議員

1. 差別解消法と町内の状況について

- (1) 盲導犬の飲食店などへの入店拒否や規制など62%の方が経験していると報道されていた。町内の飲食店、スーパーなど問題となる事案や相談はないのか。
- (2) 聴導犬という介助犬がいるようだが町内に対象犬利用者はあるのか。
- (3) 現在の障害支援対象は何人くらいいるのか。またその内訳はどのようなものか。

2. 教員の労働時間、働き方の現状について

- (1) 小学校と中学校の教員の働き方など調査されているのか。
- (2) 町ではワークライフバランスという講演会を実施したが、企業だけではなくすべての働く人を対象と考えた場合教員も対象か。

3. 小中学校の卒業記念品について

- (1) 最近の卒業記念品の状況は。
- (2) 町では梨を特産品と宣伝しているが耕作面積が減少している。何年かに1回くらいは梨普及のためにも卒業記念樹にしてはどうか。

4. 公共施設等総合管理計画内容について

- (1) 管理計画における大規模改修、築31年以上の大規模改修、建て替えに該当する主な施設は何か。
- (2) 学校施設の統廃合の検討とあるが、生徒数、改修費用、管理維持費など目安となる考え方は。

5 8番 栗原 孝夫議員

1. 安全な自転車利用の環境整備について

- (1) 過去10年間の自転車の巻き込まれた事故の推移と考えられる原因は。
- (2) 町では自転車交通の基本的な位置付け、あり方をどのように考えているのか。
- (3) 現状の取り組みのなかでの自転車交通環境整備の工夫策は。

2. 今後の果樹栽培について

- (1) 過去10年間の果樹に関する補助金の推移と効果は。
- (2) 補助金の使い方の工夫は。
- (3) 今後の果樹栽培の展望は。

3. 次世代エネルギーについて

- (1) 水素エネルギーをどう考えるか。
- (2) 町内に水素ステーションの考えはないか。